

【広島県】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「令和の日本型学校教育」の構築を目指した中央教育審議会の答申（令和3年1月）及びそれに続く政府の議論等において、学校教育の基盤的なツールとしてICTは必要不可欠なものであるとされており、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的、対話的で深い学びの実現のため、1人1台端末の活用は重要な役割を担っている。

今回、端末の更新を行う県立学校においては、それぞれの学校や児童生徒の実態等に応じ、GIGAスクール構想により整備されたICT環境の下、1人1台端末の効果的な利活用に向けての実践を図ってきた。

引き続き、全ての児童生徒の主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、豊かな学びのための1人1台端末の効果的な活用の普及を推進していく。

2 GIGA第1期の総括

令和元年度から令和5年度にかけて、県立中学校及び特別支援学校小学部・中学部に1人1台端末(iPad)を整備している。また、各県立学校の通信ネットワーク整備を行い、令和3年度までに、全ての県立学校において大容量通信ネットワークや周辺機器等も含めたICT環境の整備が完了している。

これらICT環境の整備に加え、県教育委員会では、教員の研修の充実を図り、教員のICT活用指導力の向上に取り組んできたところであり、本県における教員のICT活用指導力は、年々向上している（文部科学省：「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」）。

引き続き、教員のICT活用指導力のさらなる向上を目指し、全ての教員が授業等において、積極的にICTの活用を図ることができるよう、児童生徒の発達段階や障害特性に応じた効果的なICT活用について検討を進めていく必要がある。

3 1人1台端末の利活用方策

本県では、令和7年度に端末更新を計画しており、次の視点から1人1台端末の効果的な利活用を推進していく。

まず、1人1台端末の利活用の推進のため、これまでも授業等におけるICT活用に関する研修を実施しており、引き続き、各学校の実態に応じた研修メニューを用意し、校内研修に指導主事を派遣するなど、各学校のニーズや課題に応じた研修を実施する。

また、学びの変革の深化に向けて、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるカリキュラムや授業づくりを進めることにより、ICT活用指導力の更なる向上を図る。

さらに、入出力支援装置の整備や様々な学習支援コンテンツの効果的な利用により、学びの保障や学びの質の向上を図る。